

「100年のレンガ外壁」をスローガンとし1999年に発足したブリック東京。住宅寿命の短い日本において、3世代にわたり愛される外壁を提供する。そんなレンガ屋からのちょっとした情報紙がこのBrick Newsです。

ブリックメンバー



星瀬 洋【営業】

ブリック歴：24年

好きな事：読書、お酒、ウォーキング

嫌いな事：嘘つく事

好きなレンガ：スノー



吉木 隆司【営業】

ブリック歴：16年

好きな事：釣り、入浴後のビール

嫌いな事：食器洗い

好きなレンガ：ブラウニー



麦倉 幸吉【工事】

ブリック歴：12年

好きな事：わんちゃんとお散歩、お酒

嫌いな物：虫

好きなレンガ：オータム



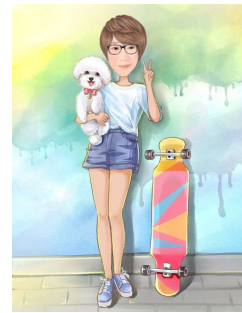
吉川 勝【工事】

ブリック歴：6年

好きなビール：スーパードライ

嫌いな食べ物：パクチー

好きなレンガ：ペーパー



郭 立宇【輸入・事務】

ブリック歴：23年

好きな事：映画鑑賞、わんちゃんとお遊ぶ

嫌いな事：不潔

好きなレンガ：ラドロー

ブリキットシステムとは・・・？

誕生のお話し

お子様やお孫さんにもこのレンガのお家に住みたいと言ってもらいたい。その思いから100年もつ外壁を探し始めたのが出発点でした。100年もつとは傷んだり腐ったりすることなく「物体」として持続可能と言う意味と、世代や時代が変わっても飽きの来ない「親しみ」「美しさ」と言った観点と両方必要でした。追ひ求めて行きついた先にこのブリキットシステムが誕生しました。

抜群の耐震性

軽量化の為にスライスし、溝加工を行った本物のレンガをガルバニウム鋼板のレール（下地材）に引っ掛けるブリック東京独自の工法。接着材に頼らずレールシステムによって物理的に落下を防ぐブリキットシステムは東日本大震災の時、震度6のエリアでも一つも剥離や落下が報告されませんでした。

メンテナンス性

本物のレンガなのでもちろんメンテナンスは不要です。普通の外壁は経年劣化しますがレンガは経年変化を楽しむ素材です。海外でも数百年のレンガ外壁は当たり前前に存在していますよね。下地にも現在では外壁の仕上げ材として使用されている程耐久性の高いガルバニウム鋼板を使用しています。

耐火性

約1,100℃以上で焼かれるレンガ。燃やそうと思っても燃えません。

≡ 施工動画を You Tube で配信しています。是非ご覧ください！

You Tube

ブリキットシステム

検索



Brick History



が生活していく上で必ず必要なもの・・・家。
家とは雨や風から身を守ってくれる空間。

古の人たちはどのように家造りをしていたのでしょうか。そもそも家造りに必要な材料は簡単に入手でき身近な場所にある事が絶対条件でした。トラックで運ぶ事なんて昔は出来なかったのですから。ではその様な材料とは何かと言うと木、石、土（粘土）が当てはまります。周りを見渡せば木々が茂り、足元に目をやれば石（岩盤）や土がありますよね。レンガはこの中の粘土を原材料として作られる建築資材です。レンガの始まりは泥状の粘土を型に入れ形成し天日にて乾燥させた物で「日干しレンガ」と

言います。大きさや形の自由が効き、難しい技術も要さず、断熱性能に優れてる日干しレンガは、多くの文献でも記されている通り紀元前 4,000 年頃には多くの地域で使われ始めました。その時代と言えばあの世界 4 大文明（メソポタミア、エジプト、インダス、黄河）と時期が重なっています。世界 4 大文明はそれぞれの地域の大河周辺で発展を遂げますが河川の付近には湿地帯が多く、つまり日干しレンガに適した粘土がほぼ無限に入手できました。文明発展と人口増加は比例関係にあると言えますが、人口の増加を支える為には沢山の住居が必要となります。その建築資材としてレンガは最適だったのです。かくして情報交換できない大昔にそれぞれが遠く離れた 4 大文明全てでレンガ住宅は選ばれました。余談になりますが、文明が川の近くで発達した要因としては、多種の農作物が育つ、生活用水が必要、川に船を浮かべ人や物を運ぶ運搬手段とできる、なども挙げられます。太古よりレンガと人類は切っても切れない縁で繋がり、現在に至っているのです。



インダス文明最大の都市モヘンジョ＝ダロ



185011
が大きな声で「おめでとうございます！あなたが新しいホームオーナーです！」と祝福し周りから拍手されます。なんか楽しく家を購入していますね。裏では大きなお金も動いているかも・・・。ひとつお勧めのドラマを紹介します。Netflix で「セリング・サンセット」と言うロサンゼルスに実在する高級物件を扱う不動産会社のドラマです。上の写真はアメリカ、ニュージャージー州の家（外壁はもちろんレンガです）でベッドルームとバスルームが5つずつあります。1 億 7 千万円で 2 か月前に売却されました。高いと思いますか？それともお買い得ですか？ちなみに私の実家上海では 100 m² のマンションはほとんど億単位です。これがいままで続くのかは分かりませんが・・・高いですか？

Riu's Corner



回は海外の不動産について少しお話ししたいと思います。アメリカ、オーストラリアで不動産の売買資格にブローカーと言う名前の資格があります。日本でいう所の宅建の様なものですがオーストラリアの不動産市場では「競売」と言うやり方がポピュラーなのですが家の売り主が売りたい金額を一回提示して、買いたい人はオンラインで自分の希望する金額を入力し、最後に一番高い金額を提示した人に売ります。やり方も色々あり、売り出す住宅の前に買い主達が並びます。まるでオークションの様に人気物件の金額はどんどん上がって、最後に競売に勝利すると不動産エージェント

ブリキットシステムの施工事例はInstagramから
ご覧下さい。コメント、ご質問もお待ちしております！！

